



奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター Nara IDSC
(奈良県保健環境研究センター内)



● 今週の概要

- 今週の感染症情報
- 流行感染症情報：感染性胃腸炎
- 保健環境研究センターだより②
- 保健環境研究センターだより③



(調査週) 平成 24 年 第 49 週 12 月 3 日 (月) ~ 12 月 9 日 (日)

奈良県および二次医療圏別発生状況 (奈良県上位 5 疾患) (5 週前からの動向)

順位	疾患	定点当り	奈良県	北部	中部	南部
1	感染性胃腸炎	13.69	→~↑	↑	→	→
2	水痘	1.26	↑	→	↑	↑↑
3	RS ウイルス感染症	0.94	→~↑	↑	→	→~↑
4	A 群溶連菌咽頭炎	0.94	↑	↑	→	→
5	咽頭結膜熱	0.23	→~↑	→	↑	↓

全県の動きと目立って異なる推移（定点当りの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

県北部地区概況 報告数は363例で、前週報告の367例とほぼ横ばい。上位5疾患は、①感染性胃腸炎、②A群溶連菌咽頭炎、③RSウイルス感染症、④水痘、⑤手足口病の順。A群溶連菌咽頭炎の報告数（25例）は、増加。RSウイルス感染症の報告数（18例）は、やや増加。手足口病の報告数（5例）も、やや増加。感染性胃腸炎の報告数（288例）は、減少。水痘の報告数（13例）は、やや減少。また、インフルエンザ定点からの報告は、郡山HC管内より3例あった。奈良市HCおよび郡山HC両管内眼科定点から、流行性角結膜炎の報告が、

各々順に1例、2例と計3例あった。また、郡山HC管内基幹定点からは、マイコプラズマ肺炎が3例（0歳児、1～4歳児、10～14歳児）報告された。

（村井 記）

県中部地区概況 報告数は、228例から213例と減少した。上位5疾患は、感染性胃腸炎、水痘、RSウイルス感染症、A群溶連菌咽頭炎、咽頭結膜熱の順であった。感染性胃腸炎は、153例と横ばいであり、水痘は、7例から25例と増加している。インフルエンザは、前週と同数の6例である。基幹定点および眼科定点からの報告はなかった。

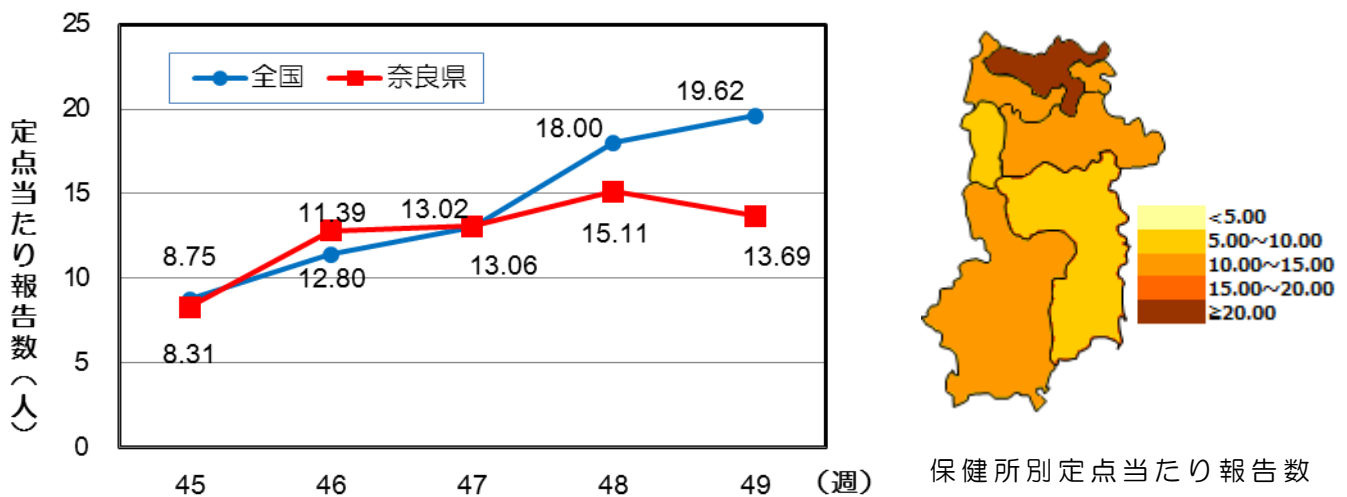
（高木 記）

県南部地区概況 報告数（第48週→第49週）は53例→51例と推移。報告のあった疾患は、①感染性胃腸炎（39例→38例）、②水痘（2例→6例）、③RSウイルス感染症（5例→4例）、④A群溶連菌咽頭炎（3例→1例）、④突発性発疹（1例→1例）、④流行性角結膜炎【眼科定点】（0例→1例）であった。

（柳生 記）

《流行感染症情報：感染性胃腸炎》

第49週の奈良県全体における定点あたり報告数は13.69（報告数479）と、前週より減少しました。全国値は19.62と、依然増加傾向にあります。



感染症情報センターホームページアドレス

http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-27874.htm

【保健環境研究センター12月だより②】

海外で注意すべき感染症について

～予防接種編～

☆海外に出かける前に予防接種を！

海外では日本には無い病気が流行しています。予防接種を受けることは、予め免疫を獲得し、感染症から身体を守るために重要です。どのワクチンを接種するかは、渡航先、滞在期間、現地での行動によって異なります。渡航前には医療機関や検疫所で、接種するワクチンの種類と接種日程の相談をしましょう。

予防接種の多くは複数回接種する必要があります。出発まで余裕（例えばA型肝炎、日本脳炎の予防接種を受ける場合1ヶ月程度）を持って受診しましょう。

☆海外渡航で検討する予防接種の種類目安

下の表はあくまで目安です。事前に必ず医療機関に連絡して接種可能かどうか問い合わせて下さい。また10代以上で麻しんの予防接種を2回受けていない方は、渡航前に予防接種の検討が推奨されます。

渡航先	黄熱	ポリオ	日本脳炎	A型肝炎	B型肝炎	狂犬病	破傷風
東アジア			○	◎	○	○	◎
東南アジア			○	◎	○	○	◎
南アジア		○	○	◎	○	○	◎
中近東		○		◎	○	○	◎
北・西ヨーロッパ						○	◎
東ヨーロッパ		○		○	○	○	◎
南ヨーロッパ				○	○	○	◎
ロシア				○	○	○	◎
北アフリカ		○		◎	○	○	◎
中央アフリカ	●	○		◎	○	○	◎
南アフリカ		○		◎	○	○	◎
太平洋地域				◎	○	○	◎
オセアニア							◎
北米						○	◎
中南米	●			◎	○	○	◎

●：予防接種証明書が要求される場合があります

◎：短期滞在であっても接種を推奨します

○：局地的な発生があるなど、リスクがある場合に接種を検討してください

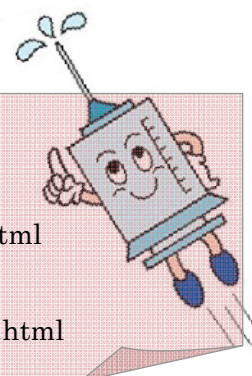
詳しくはこちらのホームページをご覧ください。

■厚生労働省検疫所ホームページ

<海外渡航のためのワクチン> <http://www.forth.go.jp/useful/vaccination.html>

■外務省ホームページ

<在外公館医務官情報> <http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>



【保健環境研究センター12月だより③】

～今シーズンのノロウイルスは？～

●10月だよりでは昨シーズンまでの状況をお知らせいたしましたので、今回は今シーズン（2012年9月以降）流行しているノロウイルスの検出状況や遺伝子解析の結果などについて報告します。

●今シーズンに入ってから第49週（12月3日～9日）までに、保健所から当センターに検査依頼のあった集団感染等の19事例からノロウイルスを検出しました。調査依頼は11月に入ってから急増したため、奈良県におけるノロウイルスの流行は昨シーズンまでと同様11月に入ってからであったと考えられます。

●現在、日本各地ではGⅡ/4の新しい変異株が検出され、急速に活動を活発化していると報告されています。そこで当センターでは、今シーズン検出したウイルスの一部について遺伝子解析を実施しました。得られた塩基配列を基に分子系統樹解析を実施した結果、当センターで検出したウイルスの多くも、これまで流行していたGⅡ/4株とは異なるクレードを構成し、2012年3月にオーストラリアで検出された Sydney/NSW0514/2012/AU 株、香港で8月に検出された Hong Kong/CUHK3655/2012/CHN 株などのウイルス株と近縁で、国内各地で流行している GⅡ/4 の新しい変異株と考えられます（図）。今シーズンはこの変異株が主流になると予想されています。

●当センターでは今後もノロウイルスについて詳細な解析を実施し、随時、情報提供していく予定です。病原体定点医療機関の先生方には、引き続き検体採取のご協力の程よろしくお願い申し上げます。

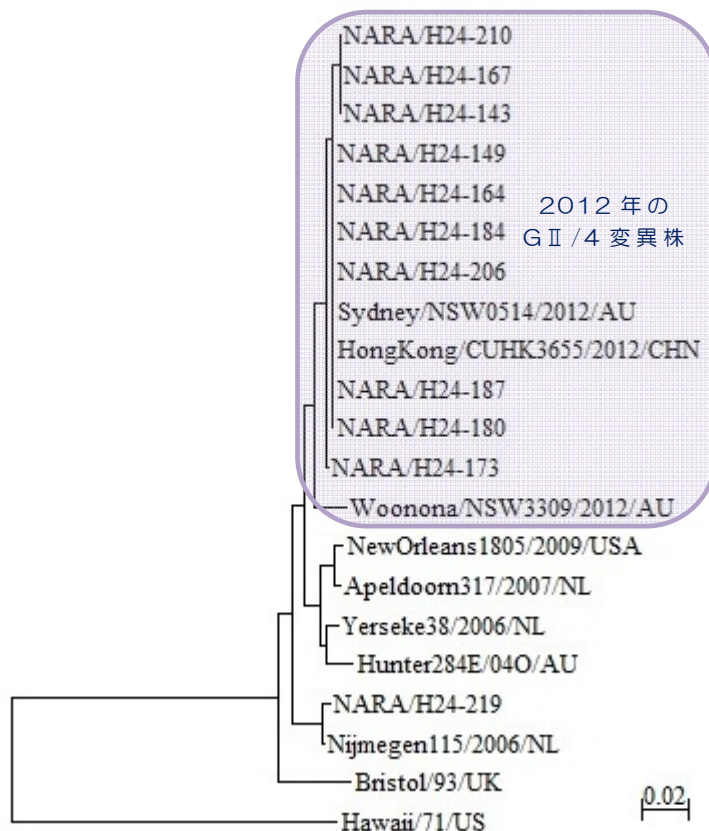


図 ノロウイルス GⅡ/4 株の系統樹 (NARA/H24-####がセンター検出株)

詳しくはこちらのホームページをご覧ください。

〈国立感染症研究所感染症情報センターホームページ〉

ノロウイルス検出速報

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-noro.html>

〈速報〉ノロウイルス GⅡ/4 の新しい変異株の遺伝子解析と全国における検出状況

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/norovirus-m/norovirus-iasrs/2957-pr3942.html>



(ウイルスチーム 米田 記)